

貧酸素水塊速報 (2018年)

【発行】 ○ 千葉県水産総合研究センター
 神奈川県水産技術センター
 千葉県農林水産技術会議
 内湾底びき網研究会連合会

【協力】 千葉県環境研究センター
 第三管区海上保安本部
 ○ 東京都環境局
 (国)国立環境研究所
 ○ モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

平成30年10月3～4日観測結果

内湾全域で貧酸素水塊は観測されませんでした(図1, 2, 3)。9月30日から10月1日にかけて通過した台風24号による暴風の影響や、表層水温の低下に伴う鉛直混合が進んだためと考えられます。

ただし、今週末以降は晴れて気温の高い日が多いと予想されていることから、貧酸素水塊が再び発生する可能性があり、引き続き注意が必要です。

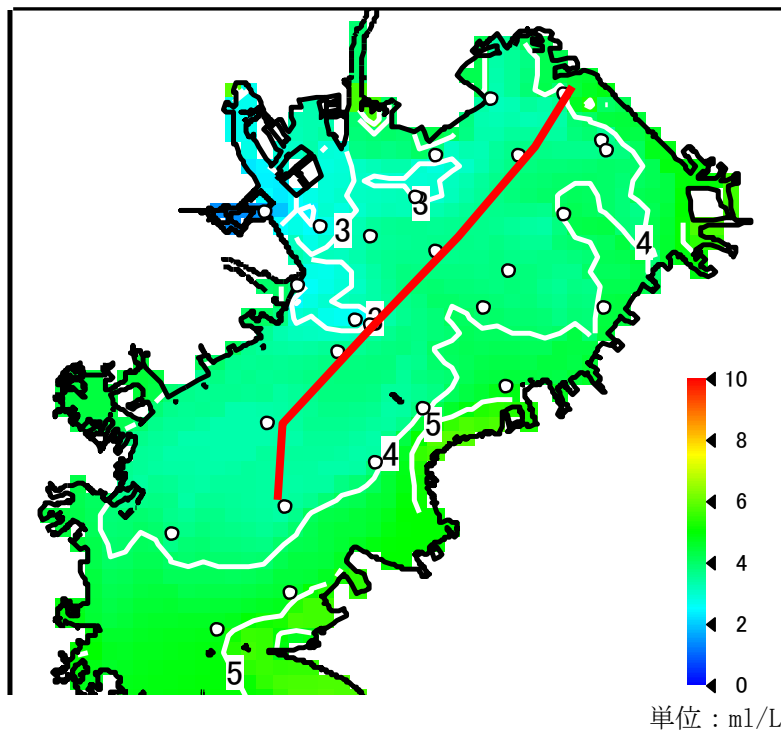


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

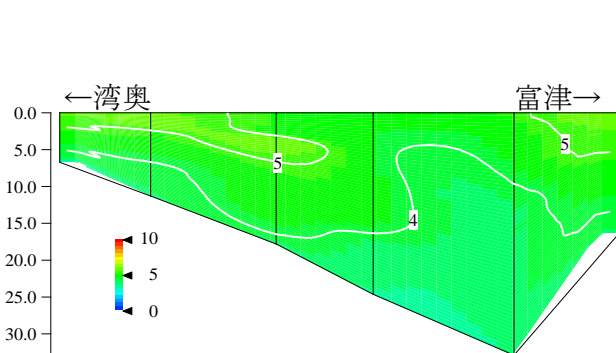


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

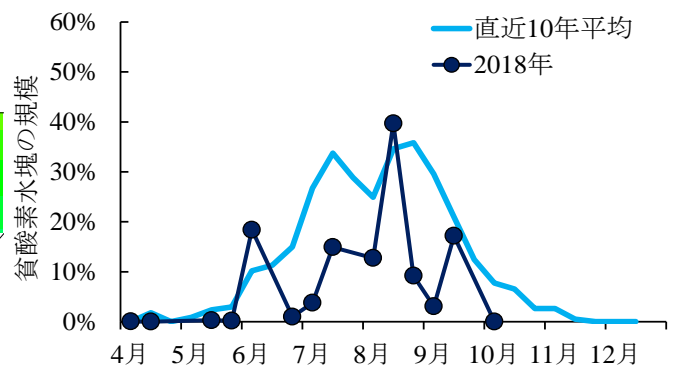


図3 貧酸素水塊の規模
(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)